

未来の社会健康基軸に

弘大など東京とフォーラム同時開催 産業創出戦略など紹介

弘前大学と県、弘前市が主催する「弘前大学COI-NEXT ウェルビーイングイノベーションフォーラム2023」が13日、東京都内とオンラインで同時開催された。国内外の約2200人が聴講する中、研究者や参画企業の担当者らが健康を基軸とした未来の地域社会モデルやヘルスケア産業創出戦略について発表し、参画企業はウェルビーイング（幸福度の高い状態）に生きるための最新情報や研究内容を紹介した。

弘大COI-NEXT

（以下COIネクスト）の村下公一拠点長は「ウェルビーイングな地域共創社会の実現」と題して基調講演。健康寿命延伸のために新たな視点に「若者」と「経済」を据えたCOIネクストは、若者への働き掛

けに力を入れ、健康産業を軸に地域を巻き込んで経済の活性化につなげることを目指していると紹介した。パネルディスカッションでは、あらゆる業種の参画企業担当者や村下拠点長、中路重之顧問（同大医学部医学研究科特任教授）ら16人が登壇。若者にどう働き掛けるかのテーマでは「オンラインとリアルをうまく使ってリアルに外に出るこ

とへのハードルを下げる」や「健康商品であれば、実際に試して体験してもらおう」などの意見が出された。

村下拠点長は最後に「若者だけでなく全世代が関わって拠点の多様性を深めながら、さらに強く進めていきたい」と述べた。

（石田紅子）



高田 弘 弘前大学

弘前大学のCOI-Nextフォーラム（宮内）

パネルディスカッションで意見を述べる村下拠点長（右）ら（Zoom画面より）